



SG REPORT

第71回 ボートレース ダービー

10/22-27 ボートレース戸田

優勝戦1周2マーク



ウイニングラン



**地元SGでついに勝った桐生順平
最後は劇的な埼玉支部ワンツ―!!**

3月のクラシックに続く今年2度目のSGの舞台となった戸田。年末の賞金戦線へ向けた第一関門として注目が集まる場所。

優勝戦に勝ち上がったベスト6は、連覇や地元など、それぞれに見出しがつくような特徴的な顔ぶれとなった。

まず連覇がかかるのは峰竜太、毒島誠、馬場貴也。峰は昨年蒲郡からのダービー連覇、毒島は3月のクラシックに続く戸田SG連覇、馬場は丸亀メモリアルからのSG連覇。さらに峰と毒島は前回戦と同じ枠番でもある。

峰は「戸田は苦手だけど優勝し

たら自信になる。連覇を達成して、その先の3連覇へつなげたい」と優勝戦前から来年のことを見据えていた。それに対して毒島は「戸田のSGを連覇できるのは僕だけなんので、それは意識している」とこちらも意欲満々。

そして地元の桐生順平と佐藤翼。開会式も勝利者インタビューでも地元ファンからひととき大きな声援を浴びていたのが印象的。桐生は「結果がついてくればファンの方が喜んでくれる」と強く地元を意識。戸田のスタンドではこの節から「桐生順平メモリアルブース」がオープンした。ここに飾る優勝

準優10R

地元桐生が優出一番乗り					
着順	艇番	予想	選手名	進入	ST
1	①	◎	桐生 順平	1	15
2	②	○	関 浩哉	2	13
3	⑤	×	前田 将太	5	10
4	⑥		濱野谷憲吾	6	18
5	④		高倉 和士	4	06
6	③	△	菊地 孝平	3	11
2連単 ①-② 330円 1番人気 逃げ					
3連単 ①-②-⑤ 1000円 4番人気					

準優11R

毒島のスピード逃げ					
着順	艇番	予想	選手名	進入	ST
1	①	◎	毒島 誠	1	05
2	②	○	佐藤 翼	2	06
3	⑥	×	上野真之介	6	05
4	③	△	松井 繁	3	08
5	⑤		白井 英治	5	06
6	④		宮地 元輝	4	07
2連単 ①-② 270円 1番人気 逃げ					
3連単 ①-②-⑥ 2270円 11番人気					

準優12R

予選トップの峰が王道逃げ					
着順	艇番	予想	選手名	進入	ST
1	①	◎	峰 竜太	1	10
2	⑤	×	馬場 貴也	6	09
3	④	△	平本 真之	4	11
4	⑥		西山 貴浩	5	07
5	③	○	山田 康二	3	16
6	②		茅原 悠紀	2	13
2連単 ①-⑤ 640円 4番人気 逃げ					
3連単 ①-⑤-④ 2800円 13番人気					

優勝戦メンバー

予想		艇番	選手名	F・L	モーター			今回成績				
一般	本誌				出	行	伸	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
◎	◎	①	峰 竜太		◎	◎	◎	① -05	②③ 三08六35	②① 二08五09	② 四10	① -10
○	×	②	毒島 誠		◎	◎	○	④ 五09	①① 五09-05	② 六12	②② 二14二08	① -05
△	○	③	桐生 順平	F	◎	○	○	①④ 五08三12	② 六18	① 二16	②① 五09-15	① -15
×	△	④	関 浩哉		☆	☆	◎	③ 六08	③ 三13	③① 四17五10	① -07	② 二13
		⑤	佐藤 翼		◎	○	○	① 四07	③① 五07-12	③ 六17	③ 二06	② 二06
		⑥	馬場 貴也		◎	○	○	①① 三07-06	④ 六20	④⑤ 二09五16	② 四13	② 六09

展示速報での採点

12R

- 1 峰 竜太 ☆☆☆★
- 2 毒島 誠 ☆☆☆☆
- 3 桐生順平 ☆☆☆☆★
- 4 関 浩哉 ☆☆☆☆
- 5 佐藤 翼 ☆☆☆★
- 6 馬場貴也 ☆☆☆★

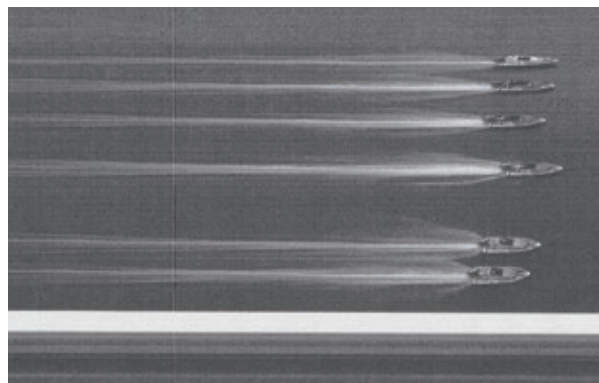
*当日のスマホマクールで
配信したものです

優勝戦結果

着順	艇番	予想	選手名	タイム	進入	ST
1	③	○	桐生 順平	1.48.8	3	16
2	⑤		佐藤 翼	1.49.6	5	17
3	②	×	毒島 誠	1.51.0	2	14
4	①	◎	峰 竜太	1.52.0	1	13
5	④	△	関 浩哉	-	4	12
6	⑥		馬場 貴也	-	6	20
2連単 ③-⑤ 7130円 14番人気 まくり						
3連単 ③-⑤-② 48420円 69番人気						

トロフィーを早速ひとつ増やしたいところ。
佐藤は「嫁さん(土屋南)が2人目を妊娠して休んでるので、それを力に変えて」と家族が後押しする。最終日は1万人を超えるファンが本場に詰めかけ、レースごとに怒号のような歓声が上がっていた。
優勝戦の展示気配、スリット後の行き足では関がややリード。このメンバーが相手でも節イチ気配をアピールしている。周回展示で最もよく見えたのが桐生。気迫を前面に押し出すような展示内容で、他を圧倒。一方、峰に関しては1周目も2周目も予選や準優勝戦の方がよく見えた。タイムも物足りないレベル。
大歓声の中ピットアウトした6選手、進入は淡々とした杓なり3対3。スタートはほぼ横一線。ダッシュ分関がわずかにのぞくが、攻めるには至らず。まずは峰が先制……と思ったタイミングで、赤

いカボックが内側を一気に飲み込んだ。桐生のあまりにも鮮やかなツケマイが炸裂し、その瞬間、場内は地鳴りのような大歓声が沸き起こった。バックへ向くと桐生が抜け出し先頭。それを追うのは佐藤。地元ワンツー態勢にファンはさらにヒートアップ。追い上げる毒島を佐藤が退け、埼玉ワンツーで決着した。
優勝した桐生は17年グランプリ以来4度目のSG制覇。ついに地元でSGのタイトルを手にした。優勝賞金4200万円を加算し、賞金ランキング2位に浮上。今年度はGI準優勝戦でのフライングによって、GI・GIIを走れなかったが、逆境を跳ねのけ、グランプリ出場を決めた。



攻めの部品交換が優勝を後押し 賞金状況も大きく動いた

ダービーで使用されたモーターは、使用歴が浅く今回が整備解禁だった。しかし、今年話題になっていた「セッティング交換」は禁止。整備士さんによると、「試しにセッティング交換してみたら、良くなり過ぎたので、あまりに公平性を欠くため全面禁止にしました。今後解禁しない予定です」とのこと。

そんな中、最後の明暗を分けたのが、桐生順平のギヤケースの交換だった。「朝の特訓で下がっていたので換えました。それにプロペラも叩いて体感が良くなった」と最終日での挑戦的な調整がハマったといえる。

一方、敗れた峰は初日のドリーム戦を制し、シリーズをけん引した。前検から相棒の47号機を「Sランクのエンジンだ」と高く評価しており、出足系で本人向きの足に仕上げていった。しかし、これまでの戸田の結果から「苦手意識がある」と不安を口にする。それでもシリーズが進むにつれて「苦手を克服しつつある」と結果を出していくあたりはさすが。優勝戦の結果は4着で、完

全に克服とはいかなかったが、次回以降につながるシリーズになったことは間違いないだろう。

最後に賞金について。優勝した桐生は12位から2位にジャンプアップ。ダービー後F休みとなるが、ベスト6入りが見実味を帯びてきた。ちなみに3位の毒島との差はこの時点で5万円だった。

優出2着の佐藤は49位から19位になり、チャレンジカップ出場を決めた。グランプリ初出場へもう一勝負できそうだ。



戦い終わって――

佐藤翼(2着)

1マークは思ったターンができた。優勝できなかったのは実力です。

毒島誠(3着)

足は仕上がっていたけれど、1マークでハンドルが切れなかった。

峰竜太(4着)

今節は桐生に完敗。戸田ではあいつに勝てない。強い。

関浩哉(5着)

足はすごくよかったけど、展開が悪くてターンマークを回れなかった。

馬場貴也(6着)

優勝戦では足が見劣っていた。ちょっと調整もずれていました。

走り慣れてるかどうかの差が出た

――最終日にギヤケースを交換した。

朝のスタート特訓で、関君に対して下がっていくなあと思ったので、悔いのないように「やっちゃおう」という感じで。ずっと我慢して乗ってたんですけど、このままだと勝っても負けても後悔するだろうなと思って。すごく良かったわけではないけど、上積みはありました。

他に調整は？

プロペラですね。方向性が間違っていて、大きく叩き変えました。体感がかなり良くなりました。1マークのあのターンができたということがすべてだったと思います。

その1マークの判断は？

イチかバチかでした。追い風が吹いていたので、これは峰さんでもさすがに落とすだろうと。追い風でも水面はすごくよかったので、走り慣れているかどうかの差が出たと思います。たまたま決まりましたけど、ターンそのものは完璧でした。

スタートは16。

行っただけなんですよけどね。伸びられたように見えたのは関ちゃんが出るから。けどそのおかげでギヤケースも換えられし、プロペラも叩き変えられし。

勝利の確信は？

抜け出して2マークを回ってか

からです。2着が翼だったので、埼玉県民には取ってほしい舟券でした(笑)。翼も勝負がかかって、これでチャレンジカップも行けるし、来年の戸田グラチャンも決まった。本当によかったなと思います。

自身も賞金2位に。

えっ！ そうなんです。自分の計算は全然してませんでした。グランプリに行きたいっていうのは毎年思ってた、だけど今年は結果が出てなくて苦しかった。そういった中で地元で結果が出せたのは嬉しいというほかないですね。

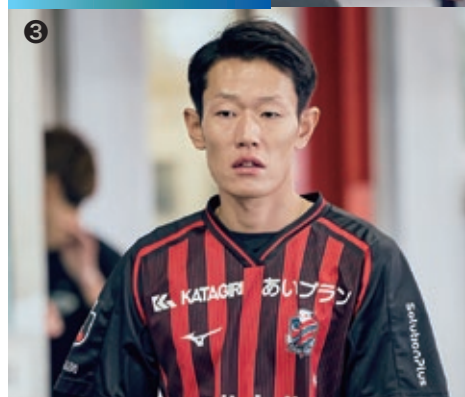
この後フライング休み。

この休みを利用してプロペラの勉強をしたいと考えてます。たまたま勝ってたけど、自分はまだまだだと痛感し、本当に勉強になった1節でした。

――グランプリと地元のSG、優勝してどちらの方が嬉しかった？
それは選べないですよ。どちらも夢でしたから。



① 峰竜太は苦手な戸田でもシリーズリーダーの活躍
② 値千金の優出でチャレンジCと来年の戸田グラチャンの切符を獲得した佐藤翼
③ F2でもヒット離れから存在感を発揮した茅原悠紀
④ 関浩哉はヤングダービーに続き結果を出し、グランプリへ大きく前進した
⑤ 特別選抜戦を勝ち、グランプリ復帰が濃厚となった王者・松井繁



⑥ 強烈な伸び足でまくり仕掛けた前田将太
⑦ 初めてのSG出場で準優まで駒を進めた高倉和士
⑧ 機力はトップクラス、大いに見せ場を作った深川真二
⑨ 戸田SG連覇、メモリアルからのSG連続優勝を狙った馬場貴也

